

(5)財務諸表に対する注記

平成31年3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

・車両運搬具及びソフトウェア・・・定額法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
給付金積立資産	20,974,332	1,145,526	710,000	21,409,858
ソフトウェア購入引当資産	597,679	100,000	370,440	327,239
小 計	21,572,011	1,245,526	1,080,440	21,737,097
合 計	31,572,011	1,245,526	1,080,440	31,737,097

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
基本財産定期預金	10,000,000		10,000,000	
小 計	10,000,000		10,000,000	
特定資産				
給付金積立資産	21,409,858		21,409,858	
ソフトウェア購入引当資産	327,239		327,239	
小 計	21,737,097	0	21,737,097	0
合 計	31,737,097	0	31,737,097	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	786,800	360,617	426,183
ソフトウェア	370,440	55,566	314,874
合 計	1,157,240	416,183	741,057

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。